



3月の園だより

令和6年3月1日

目黒区立八雲保育園 園長

こころもからだもみんなでおおきくなる春

あたたかなやわらかい陽ざしに誘われて、子どもたちは元気に戸外遊びへ出かけしています。

先月には年長児と宮前小学校一年生の交流会がありました。一年生とペアになりランドセルを背負ったり、国語の教科書を音読したりと4月から始まる小学校生活に向けて見通しがもてる経験になりました。「どきどきしたけど、楽しかった」と話す子どもたちの表情からは、不安よりも期待の方が大きいことがわかります。園内でも子どもたちの活動の中で成長を感じることがあります。「身体計測の着替えを“じぶんで”と全部しようとするんです」「〇〇公園まで距離を延ばして歩けるようになりました」と担任が嬉しそうに話す〇、1、2歳児や、一緒に散歩に行きながら「車はあぶないよ、気を付けてね」と3歳児に声をかける4歳児のエピソードからは、自分がしてもらった経験を年下の友達へ自然とつないでいこうとする子どもたちの心の成長も感じています。一か月足らずで一つ大きいクラスへ進級する、小学校へ巣立つ子どもたちが楽しくその日を迎えられるように保育を進めていきたいと思ひます。

第三者評価については、結果の公開準備まで最終段階に入りました。4月までには結果のご報告ができると思ひますので、もうしばらくお待ちください。よろしくお願ひいたします。

今月の行事予定

卒園お祝い会	5歳児
なかよし散歩	3・4・5歳児
移動日	全園児
お別れ会	全園児
避難訓練	身体計測

来月の行事予定

入園進級お祝い会
春の遠足(4・5歳児)
全体保護者会
避難訓練 身体計測

*3月27日(水)より、進級するクラスで過ごします。衣類カゴ等の移動をしますの
で、25日(月)の夕方のお迎えの時に26日(火)に使用する衣類以外はお持ち帰り
をお願いします。



失敗を自信につなげる(5歳児クラス)

今年のしろくま組は“やりたいと思ったことに挑戦してみよう。失敗しても大丈夫”という目標を掲げて一年間過ごしてきました。失敗と覚めることも次の意欲になったり、どうやったらできるか考えるきっかけにつなげていきました。

ドッジボールを始めようとすると「やりたくない」と話している子がいました。理由を聞くと「当てるのが嫌だから」と教えてくれました。それを聞いていた同じチームの友達が「僕キャッチするのうまいからうしろに隠れていて。守るから」と話してくれたり「〇〇ちゃんいないとこっちのチーム勝てないから一緒にやろう」と手を取って連れて行ってくれました。友達の言動から『やりたくない』と話していた子も参加でき、その後は自分から「ドッジボールしよう」と友達を誘って楽しんでいました。

遊びや行事、様々な活動で覚めた「悔しい」「やだな」「なんで」などの気持ちも大切にしながら、個々にあった見守りや援助と、話し合いを繰り返すことで「やりたい」「できた」と気持ちが動いていき、自信につなげる経験をたくさんしていきました。残り一か月、さらに大きな自信につなげていきます。





～みんなおおきくなりました～



めだか組（0歳児クラス）

歩けなかったり、つたない歩き方だった子どもたちが今では『あれなんだろう？』と、それぞれに興味のあるところに行き遊んでいます。お気に入りの小石や小枝などを見つけると保育士を探し、ニコニコしながらやってきて“こんな楽しいことあったよ”と見つけた物を見せてくれます。保育士との関係の中で安心して過ごし、いろいろな事に興味広がっているため、これからも子どもたちの発見や楽しかった思い出に寄り添っていきます。



あひる組（1歳児クラス）

保育士と一緒に好きな遊びを楽しんできた事で、自分で遊びを見つけイメージも広がってきています。お手玉でケーキを作った子が保育士と誕生日の歌を歌っていると、近くでは他の子が積み木をピアノに見立てたり、歌に合わせて手を叩いたり、ふーっとロウソクを消す仕草をしています。また、お皿にチェーンをのせて「ピザやけたよ」と持って嬉しそうにごちそう作りに夢中になっています。これからも子どものイメージややってみようとする気持ちを大切にしながら、好きな遊びを十分に楽しめるようにしていきます。



らっこ組（2歳児クラス）

子どもたちは井形ブロックを使って乗り物や動物などを作って楽しむ姿が多く見られるようになりました。近くにいる友達が作っている物を見て「これ作りたい」と真似して作ったり、出来た車や電車を一緒に走らせています。また、平面だった作品から立体に作るもこともたくみになり、自分なりにアレンジを加え、だんだんと大作になってきました。イメージしたものを形にしたり、作ったもので遊んだりしながら、保育士や友達とやりとりしながら楽しんでいます。



ペンギん組（3歳児クラス）

子どもたちが「先生オオカミやって」と保育士を誘いオオカミごっこがはじまります。「こっちから入ってこないようにロープつけよう」「マットでオオカミから見えなくしよう」とオオカミが入れないように相談しながら家を作っています。保育士が「オオカミだぞー」とできた家を訪ねると「もっとちいさくならないと見つっちゃう」と、ドキドキしながら友達と身を寄せ合って隠れながら楽しんでいました。日々の遊びから、友達とイメージを共有することで遊びがより楽しくなることを経験し、一緒に遊ぶことが大好きになりました。

いるか組（4歳児クラス）

「〇〇鬼しよう」という声に「やりたい、入れて！」と子どもたちが集まります。「鬼は何人にする？」「あんまり多いとつまらないよね」とどうすれば遊びが楽しくなるか、自分たちで考えながら集団遊びが出来るようになってきました。思いがぶつかり合うこともありますが、繰り返し遊ぶ中で子どもたちなりに折り合いをつけようとする姿も見られ、友達と一緒に遊ぶ楽しさをたくさん感じているからこそその姿だと思います。「もうすぐしろくまぐみだね」と大好きな友達と一緒に、進級への期待を膨らませています。

